【様式―４】

　20XX年〇月〇〇日

水コン協　ＣＰＤプログラム認定　申請書（記入例：会場開催）

公益社団法人　全国上下水道コンサルタント協会　御中

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 | 水コン協本部が記入します。空白で提出してください。 |
| プログラム名 | 令和△年度　〇〇支部 第◇回 技術講習会「技術士第二次試験対策講習会」 |
| 申請団体名（主催者） | （公社）全国上下水道コンサルタント協会　関西支部 |
| 申請団体名（共催者、後援者） | なし |
| 開始日、開始時間 | 20XX年〇月〇〇日　　13:30 |
| 終了日、終了時間 | 20XX年〇月〇〇日　　16:30 |
| 開催延べ時間（時間） | 3.00 |
| 開催場所（住所） | 大阪府大阪市中央区和泉町2-1-11 |
| 開催場所（会場名） | 大阪府建築健保会館　5F |
| 定員 | ６５名 |
| プログラムの目標 | 会員各社職員及び一般参加者を対象とした、技術士試験に対するサポート。 |
| プログラムの内容  （講師と演題） | 演題：技術士試験対策について　　　　　　　　　13：10～14:10　（60分）  　　　　　講師：〇〇◎◎氏　（株）□□△△  合格体験者：○●◎◇氏 (株)◎◆△事務所　演題：体験に基づく試験対策  14:10～14:40分（30分）  　　　　　　　 ：◎◇◆□氏　(株) ●◇□ 演題：体験に基づく試験対策  14:50～15:20分（30分）  　　　　　 　　：■△▲▽氏　△△▽▽設計(株)　演題：体験に基づく試験対策  15:20～15:50分（30分）  ※実時間を記載する（挨拶、休憩時間は含めない） |
| 効果の確認方法（※1） | アンケート調査 |
| プログラムの分野（※2） | Ｂ |
| プログラムの番号（※3） | １ |
| 申請ＣＰＤ単位 | 2.50 |
| 参加費 | 会員：無料 |
| 詳細情報掲載先HPのURL | http://www.kansuikon.gr.jp/ |
| その他 |  |
| ■プログラム情報検索サイトへの掲載 | ●希望する ○希望しない ※2005年7月1日以降申請分から掲載は有料 |
| ■申請責任者名 | 関西支部長　△▲△▲ |
| ■担当者名 | 関西支部事務局　◎◇◎◇ |
| ■連絡先（ＴＥＬ、Ｅ-Mail） | TEL　06-6170-2806　E-mail 〇〇〇〇＠ｓｕｉｋｏｎ.or.jp |
| 本協会のCPD プログラムは上下水道技術者の育成・自己研鑽を目的としています。プログラムの申請にあたっては、許可条件並びに留意事項をご確認願います。  ［許可条件］   1. 主催者は「水コン協 CPD ガイドブック3. CPD プログラムの種類」に挙げる、①当協会、②建設系CPD 協議会加盟の各学協会、及び③上記以外の団体とする。   なお、上記以外の団体とは、上下水道関連の官公庁等、公益法人(公益社団法人，公益財団法人)またはこれに準ずる上下水道関連の団体（NPO 法人，一般社団法人（日本水道工業団体連合会、日本下水道施設業協会，日本ダクタイル鉄管協会，日本グラウンドマンホール工業会等の団体）を指す。   1. 本協会の認定プログラムとして、「水コン協 CPD ガイドブック3. CPD プログラムの種類」に規定する【技術動向】、【社会性】、【総合性】、【技術者倫理】のいずれかに該当する内容であること。   特に、上記以外の団体が主催するプログラムが当協会の認定を受けるためには、プログラム内容に上下水道関連を必ず含み、水コン協CPD に相応しい場合に限る。   1. 講習内容の公平性が担保されていること。（講習内容が偏った企業の技術紹介である場合は許可しない。）   ［留意事項］   1. 申請書に、プログラム内容（演題、講師、時間割等）が確認できる実施要領を必ず添付してください。 2. 認定申請時と実施時のプログラム内容に齟齬がある場合には、認定を取り消す場合もあります。 3. プログラムの効果の確認を行われる場合には、その結果を水コン協にご報告下さい。 4. 認定プログラムについては、主催者が希望される場合は、建設系CPD 協議会の「CPD プログラム情報検索サイト」※4 に掲載します。（ただし、１件に付き3,300 円（税込み）をご負担いただきます。） 5. 申請書の作成にあたっては、別シートの入力例を参考にして下さい。   ※１　無い場合は「なし」と、有る場合は具体的な内容（アンケート調査、レポート提出、試験、その他の方法）を記入してください。  ※２　「水コン協CPD ガイドブック 表4.1CPD 分野」に記載されたＡ～Ｄの分野から選択し、「記号」を記入して下さい。  ※３　「水コン協CPD ガイドブック 表4.3CPD 形態とCPD 単位」に記載された１～23 の番号から選択し、「番号」を記入してください。  ※４　建設系CPD 協議会のサイトはこちらです。→http://www.cpd-ccesa.org/ | |

様式―４】

　20XX年〇月〇〇日

水コン協　ＣＰＤプログラム認定　申請書（記入例：オンライン講習会）

公益社団法人　全国上下水道コンサルタント協会　御中

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 | 水コン協本部が記入します。空白で提出してください。 |
| プログラム名 | 令和△年度　関東支部 第◇回 技術講習会（全国配信）「技術士第二次試験対策講習会」 |
| 申請団体名（主催者） | （公社）全国上下水道コンサルタント協会　関東支部 |
| 申請団体名（共催者、後援者） | なし |
| 開始日、開始時間 | 20XX年〇月〇〇日　　13:30 |
| 終了日、終了時間 | 20XX年〇月〇〇日　　16:30 |
| 開催延べ時間（時間） | 3.00 |
| 開催場所（住所） | 東京都荒川区西日暮里5丁目26番8号　スズヨシビル７階 |
| 開催場所（会場名） | 水コン協本部会議室（Web開催） |
| 定員 | 対面65名＋Web500名 |
| プログラムの目標 | 会員各社職員及び一般参加者を対象とした、技術士試験に対するサポート。 |
| プログラムの内容  （講師と演題） | 演題：技術士試験対策について　　　　　　　　　13：10～14:10　（60分）  　　　　　講師：〇〇◎◎氏　（株）□□△△  合格体験者：○●◎◇氏 (株)◎◆△事務所　演題：体験に基づく試験対策  14:10～14:40分（30分）  　　　　　　　 ：◎◇◆□氏　(株) ●◇□ 演題：体験に基づく試験対策  14:50～15:20分（30分）  　　　　　 　　：■△▲▽氏　△△▽▽設計(株)　演題：体験に基づく試験対策  15:20～15:50分（30分）  ※実時間を記載する（挨拶、休憩時間は含めない） |
| 効果の確認方法（※1） | アンケート調査 |
| プログラムの分野（※2） | Ｂ |
| プログラムの番号（※3） | １ |
| 申請ＣＰＤ単位 | 2.50 |
| 参加費 | 会員：無料 |
| 詳細情報掲載先HPのURL | https://www.suikon.or.jp/seminar/branch/index.html |
| その他 | Zoom使用　（Web開催のツールを記載） |
| ■プログラム情報検索サイトへの掲載 | ●希望する ○希望しない ※2005年7月1日以降申請分から掲載は有料 |
| ■申請責任者名 | 関東支部技術委員長　△▲△▲ |
| ■担当者名 | 関東支部事務局　◎◇◎◇ |
| ■連絡先（ＴＥＬ、Ｅ-Mail） | TEL　03-6806-5751　E-mail 〇〇〇〇＠ｓｕｉｋｏｎ.or.jp |

|  |
| --- |
| 本協会のCPD プログラムは上下水道技術者の育成・自己研鑽を目的としています。プログラムの申請にあたっては、許可条件並びに留意事項をご確認願います。  ［許可条件］   1. 主催者は「水コン協 CPD ガイドブック3. CPD プログラムの種類」に挙げる、①当協会、②建設系CPD 協議会加盟の各学協会、及び③上記以外の団体とする。   なお、上記以外の団体とは、上下水道関連の官公庁等、公益法人(公益社団法人，公益財団法人)またはこれに準ずる上下水道関連の団体（NPO 法人，一般社団法人（日本水道工業団体連合会、日本下水道施設業協会，日本ダクタイル鉄管協会，日本グラウンドマンホール工業会等の団体）を指す。   1. 本協会の認定プログラムとして、「水コン協 CPD ガイドブック3. CPD プログラムの種類」に規定する【技術動向】、【社会性】、【総合性】、【技術者倫理】のいずれかに該当する内容であること。   特に、上記以外の団体が主催するプログラムが当協会の認定を受けるためには、プログラム内容に上下水道関連を必ず含み、水コン協CPD に相応しい場合に限る。   1. 講習内容の公平性が担保されていること。（講習内容が偏った企業の技術紹介である場合は許可しない。）   ［留意事項］   1. 申請書に、プログラム内容（演題、講師、時間割等）が確認できる実施要領を必ず添付してください。 2. 認定申請時と実施時のプログラム内容に齟齬がある場合には、認定を取り消す場合もあります。 3. プログラムの効果の確認を行われる場合には、その結果を水コン協にご報告下さい。 4. 認定プログラムについては、主催者が希望される場合は、建設系CPD 協議会の「CPD プログラム情報検索サイト」※4 に掲載します。（ただし、１件に付き3,300 円（税込み）をご負担いただきます。） 5. 申請書の作成にあたっては、別シートの入力例を参考にして下さい。   ※１　無い場合は「なし」と、有る場合は具体的な内容（アンケート調査、レポート提出、試験、その他の方法）を記入してください。  ※２　「水コン協CPD ガイドブック 表4.1CPD 分野」に記載されたＡ～Ｄの分野から選択し、「記号」を記入して下さい。  ※３　「水コン協CPD ガイドブック 表4.3CPD 形態とCPD 単位」に記載された１～23 の番号から選択し、「番号」を記入してください。  ※４　建設系CPD 協議会のサイトはこちらです。→http://www.cpd-ccesa.org/ |